

特集

この先生に

教わりたい!

— VOL. 1 —

大学では
どんな先生に出会うか、どんなテーマに出会うか、どんな教育に出会うかが
将来を決める大きなターニングポイントとなります。
長崎大学には個性豊かな先生がたくさんいますが
個々の先生について知る機会はありません。

そこで今号では
Choho編集部が10名のユニークな先生方をご紹介します。
もちろんこれはほんの一部
これからも順次、先生方の魅力をお伝えしていく予定です。

PROFESSORS OF
NAGASAKI UNIVERSITY



この先生に教わりたい!

映 画やアニメも活用するグラジディアン・マリア准教授の講義。興味津々です。

「私は日本の芸術作品と近代世界の相互作用に焦点を当てて研究をしています。日本文化は西洋文化を受け入れるだけでなく、さまざまな形で西洋に影響を与えてきました」。

「スター・ウォーズ」はその最もインパクトのある例だとも。

「ある種の力としてフォースが出てきますが、あれは神道の考え方そのもの。師匠と弟子との関係も武士道的です。もともとこの映画は黒澤明の『隠し砦の三悪人』に大きな影響を受けています。西洋では完全に色分けされる善と悪とがときに混ざり合う様や、強い女性の存在も似ています」。

講義ではこの二つの映画をそれぞれ十分ほど見せて学生に類似点などを考えさせます。

「子どもの頃、テレビで『アルプスの少女ハイジ』を見て、これが日本で製作されたものとは考えもしませんでした。十八歳でその事実を知り、スイスの原作と見比べるとけっこう改変されていることに気づきます。無批判に日本人が作り出したフィルターを通してハイジを理解していたのです」。

日本の古典文化の研究から始めた

この先生に教わりたい!

昨 年、江口晋教授が手掛けたある再生医療が話題になりました。

「食道狭窄の細胞シートですね。食道がんの手術は食道の内側を削るのですが、その傷が硬化して飲み込み辛くなるのが食道狭窄です。そこで患者さんの口から取った細胞をシート状に培養して削った箇所貼り付けます。すると細胞が臓器のなかの幹細胞を刺激して柔らかくなるのです。細胞はその人の一番適切なタイミングで適量の治療物質を出します。生きた細胞の力はすごいですね」。

江口先生の専門である肝臓移植と再生医療はどうつながるのでしょうか。

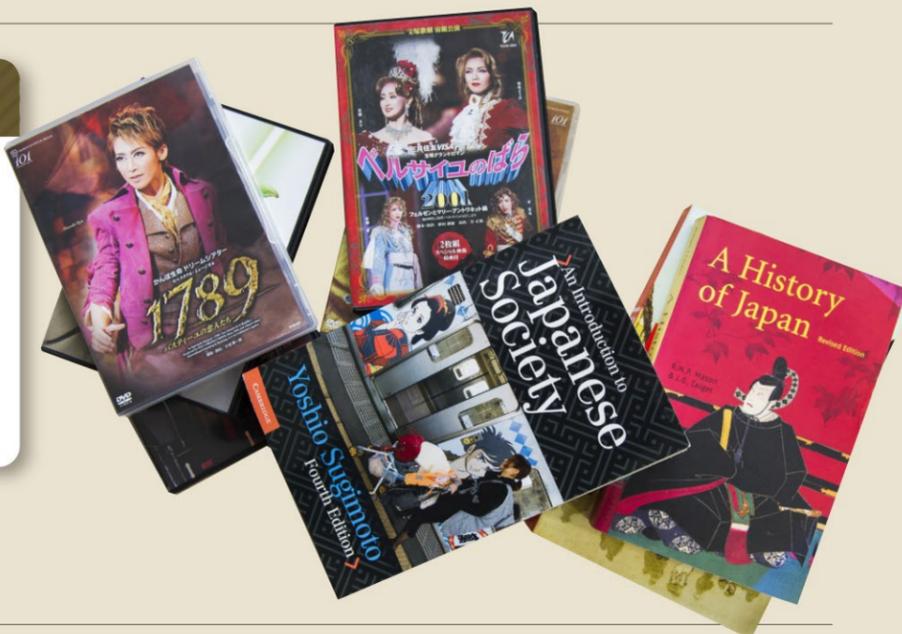
「昔は肝臓が悪くなったら助かりませんでした。今は脳死や生体のドナーさんからの肝臓移植があります。しかし、移植にはドナーさんの善意が必要です。もし自分の幹細胞で臓器を再生できれば次のステップにいける。そのため、再生医療をさまざまなアプローチで研究しているのです。iPS細胞の発見をきっかけに、日本における再生医療は研究しやすくなってきました。昨年からは法律が整備され、心臓に心筋の細胞シートを貼るなどの細胞を使った治療も厚生労働省に届けられれば可能になり、海外から羨ましがられるほどです」。

まさに今この分野が注目されています

宝塚歌劇が世界を席卷?

編集部推薦コメント

皆さんは日本のアニメに何が映し出されていると思いますか? 日本人とは異なる文化的背景を持つ人からはどう見えるのか、身近な映画やアニメが材料になります。



先生が出会ったのが宝塚歌劇。

「宝塚は一〇〇年以上の間、日本のエンターテインメント産業の代表的存在であり、世界と日本が出会うインターフェースでした。最初はフランスのレビューやアメリカのミュージカルをモデルにしていたのですが、その後独自の文化として進化します。手塚治虫は宝塚をヒントに『リボンの騎士』を発案したと語っています。この「強い少女」の概念は、宮崎駿の『風の谷のナウシカ』などに受け継がれ、世界に伝播しているのです」。

独自の視点で日本文化と西洋文化の類似点や相違点を光を当てるマリア先生は、私たちの固定概念に風穴をあけてくれます。

多文化社会学部

グラジディアン・マリア

准教授

【講義】 The world and its representation in arts (教養教育) / 出来事と表象のあいだ (多文化2年) / メディア文化論 (多文化4年) ほか

GRAJDIAN MARIA MIHAELA
ケルン大学哲学学部音楽学・日本学・フランス学修士課程修了。ハノーファー音楽大学博士課程修了。博士(音楽学)。ハイデルベルク大学研究員、シチズン電子ドイツ支社を経て、2014年より現職。

細胞の力で医療の未来を拓く

編集部推薦コメント

最先端の再生医療が学びの場に繋がっています。教科書の内容を詰め込むのではなく、新しい概念や発想をじかに学ぶことができます。



手術中の江口先生(右から2人目)。「雑念から解放されて1人の患者さんに何時間も没頭できるのが手術の場。アドレナリンが湧きだす緊張感があります」。

るのですね。

「臨床が中心の一般の病院とは異なり、大学病院にはこのような最先端の研究と情報発信にもその存在意義があります」。

同時に後進の人材を育てる教育も大切ですね。

「外科医も昔の『背中を見ておぼえろ!』では限界がある。手技は正しい方法をきちんと練習させますし、患者さんやその家族の信頼をどう築いていくかなど、コミュニケーション力もチームで磨いていきます。臨床は人との関わりがすべて。きちんと人間形成のできた医療人を作ることが大切です。新入生にはこの仕事の面白さをしつこいくらい教え、臨床実習では職業訓練校の先生のごとく(笑。それが私のやり方です)」。



大学院医歯薬学総合研究科、移植・消化器外科(第2外科)

江口 晋

教授

【講義】 医と社会(医学1年) / 外科治療学(医学4年) ほか

えぐちすむ
長崎大学医学部卒業。博士(医学)。米国シーダースサイナイ医療センター、オランダGroningen大学病院を経て2012年より現職。長崎大学病院副院長兼務。

／ この先生に教わりたい! ／

「君たち、今はまだ就職活動なんて遠い火星か木星の話だと思ってるだろう? アルバイトで貴重な大学時代を浪費するな。深夜の牛丼屋を一人で切り回しても、それはまだ企業の欲しがら人材じゃない。」
 どっしりとした体躯から学生に向かってズバズバ飛び出す弾丸トーク。藤田渉教授は、経済学部で長く就職委員を務めてきました。もともと本来の専門は経済政策やエネルギー市場の研究です。
 「国立大学のなかで、長崎大学のように経済学部の入試に数学を持つ大学は少数派。しかし経済を読み解くには数学は必須です。マクロ経済とは本来、GDPを少々上げるといった短期的な話だけじゃなく成長の源泉を見つけないと。まず一国の経済を一つの企業に例えた勉強が終わったら、それを複数の部門(産業)に分割した式にする。その先にインプット(労働力や材料)とアウトプット(商品)の概念を使えば、経済の産業相互の関係、すなわちノーベル賞を取ったレオンチェフの理論が二コマの授業で理解できます。言ってみれば謎解きたね。」
 ミクロ経済の初歩からゲーム理論までわかりやすい実例を用いて教えてくれるので階段を上るように理解が進みます。

経済理論を就活に活かす極意

編集部推薦コメント
 毒舌まじりのお話が面白くて、とりこになる学生多数。笑いながらも経済学がしっかり身につきます。「数学は経済を読み解くための文法である」という言葉も説得力があります。



多くの書籍と資料に埋もれるように座る先生の前には4台のモニターが。手首が疲れにくいという立体キーボードも珍しいですね。

「誰も教えないけれど、これらの知識を駆使すれば、社会の見方は一変する。私はそこを教えたい」と藤田先生。その見方は就活にも活かせるとも。
 「産業構造を研究してわかったのは、日本の会社のすそ野の広さです。街で見かける大企業の1・五倍もの企業が部品や材料を作っていて、世界で高評価の企業も多い。就活ではまず、そういう会社を探るのが第一歩。『自分に合った会社探し』なんて小手先は必要ない。ゼミ生にはそんな話を産業分類と結び付けて教えています。」
 火星や木星の話が我身にふりかかるとき、客観的な知識を元に、道しるべを示してくれる先生がそばにいればこれほど心強いことはありません。

経済学部 地域・経済政策コース

藤田 渉

教授

【講義】現代経済と企業活動(教養教育)／
 経済学入門(経済1年)／産業構造論(経済3年)ほか

ふじたわたる
 1981年早稲田大学理工学研究科物理学及応用物理学修士課程修了。三菱総合研究所を経て1994年より長崎大学に赴任。1999年より現職。NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の技術委員。

／ この先生に教わりたい! ／

井宏章教授の専門は建物の耐震・制振構造です。日本建築学会の「制振設計指針」を作った学会の第一人者でもあります。
 「制振設計指針」は、比較的大きな建物の設計に使われる建築構造設計士の設計マニュアルです。揺れを抑える装置である履歴ダンパーを建物に仕込む際に、その性能を評価できるのがポイントで、欧米の基準と比べて最も先進的です。これは建物が地震にあったときやその後にどれだけ壊れたか、あとどれくらいの大ささの地震が来ると壊れるかを予測できるというものです。現在の耐震設計は人命の保護はしますが、建物財産の保護には応えていません。まさにこれに込める指針なのです。
 そのほか、これからの日本の耐震設計の考え方を整理し、今後の設計の有り様を指し示す日本建築学会の「塑性設計指針」も主査として執筆。これらの経験を生かしつつ、一年生にも耐震や制振について理解が深まるよう、実験を駆使した講義に定評があります。先生の所属する構造工学科の「エンジン・アリアンテデザイン」の特別プレゼンテーションを覗かせていただきました。この授業は、学生が主体的に地域の課題取材して課題解決を考えるというもので、黒崎教会の方の「小さな地震で教会堂がギシギシしたので怖い」という声に込

構造工学で地域の課題を解決

編集部推薦コメント
 日本における耐震・制振の権威でありながら、授業では1年生でも理解できるように建物の耐震構造のしくみや概念について、丁寧に教えてくれます。座学で得た知識は実験や地域での実習で生きてきます。



3年生の研究発表のようす。小菅修船場跡の曳上げ機を再生して船を引き揚げ、観光を活性化させようというアイデアを発表する班。最大重量の算出や歯車の解析も行います。

て耐震診断を行った班、歴史的な橋の補強や被爆遺構の活用をテーマとした班などがありました。
 「構造工学が社会にどう役立つか。取り組む前と後では学生たちのモチベーションが違います。彼らの優しさや情熱は我々にも刺激になります。」
 先生自身も地域貢献が自身の大きな役割と感じています。
 「軍艦島の建物の補強計画も立案しています。また、先日行政の方々と話していて気付いたのですが、土地柄なのか、長崎では地震対策がおろそかになりがちです。しかし、研究者からみれば「地震はどこでも起きるのが当たり前」。そういった意識で対策さえ立てれば被災者は減ります。粘り強く一つ一つ手がけたいですね。」
 先生の後に続く設計者、研究者が育ち行政の担い手になれば、街は今よりもっと安心で安全となることでしょう。

大学院工学研究科システム科学部門

玉井宏章

教授

【講義】計算力学(工学3年)・同演習(工学3年)／
 平面及び曲面構造論(工学3年)／エンジニアリングデザイン(工学3年)

たまひひろゆき
 広島大学工学部卒業。同工学研究科構造工学専攻博士課程修了。博士(工学)。広島工業大学准教授を経て2012年より現職。東京工業大学客員教授。一級建築士。地震被災建物応急危険度判定士。著書「鋼構造制振設計指針(日本建築学会)」

この先生に教わりたい!

多

文化社会学部オランダ特別コースは、三年後期からオランダのライデン大学へ一年間留学することになっています。そのため、オランダ語はもちろん、オランダの歴史や政治経済などを学ぶカリキュラムが組まれており、ライデン大学から来られた先生も指導を担うというシステムです。後期を担当しているのがポート客員教授。

「ライデン大学は、約十年前から学生を毎年十名長崎大学に留学させていますし、長崎大学からも医学部や経済学部の学生を受け入れるなど、交流が続いています。オランダ特別コースの場合、前期ではボイケルス先生がオランダの中世と近世の歴史と社会史を、後期では私が近現代史を教えています。例えば私が担当する近現代史には第二次世界大戦中の事柄が出てきます。多くのオランダ人は、日本といえば戦争中の東インドでの捕虜収容所を連想します。芸者や桜だけじゃなく(笑)。学生は、ライデン大学に留学する前にこの事実を知っておいた方がいい。もちろん、王政となって二〇〇年間の政治や経済、主要な人物など、オランダでの生活に必要な知識も教えます。日本でも西郷隆盛の銅像を見て『この人誰?』では困るでしょう?』。滑らかな日本語の随所に冗談も交

オランダ・ライデン大学教授@長崎



編集部推薦コメント

オランダについて専門的に学べるコースは全国で長崎大学だけ。しかも日本にしながらヨーロッパの名門ライデン大学の先生の授業を受けられ、ライデン大学留学への準備もばっちりです。



以前、経済学部生がライデン大学に短期留学したときの様子。18世紀以降の学長の肖像画が掲げられるなか、ガウンを着た先生方の向かって左から2番目がボイケルス先生、右端がポート先生。先生の在籍する文学部には大きな特長があります。「オランダで唯一、中近東から東アジアまでの言語を扱います。つまりナイル川から隅田川までですね(笑)」。

えるポート先生ですが、講義はすべて英語です。「ヨーロッパで働くならば少なくとも英語の他にもう一カ国語はマスターしておく必要がありますが、国内外問わずどんな仕事に就くにせよ英語は重要です。高校生の皆さんは、教科書のしようもない英語で我慢せず(笑)、英語の本をどんどん読みなさい。すると別世界の常識がのぞとわかってきます」。言葉を感じることは自己の努力しかないというポート先生。「オランダの学生は口から先に生まれて来たかのようによく発言します。日本の学生も何を学びたいのかしっかりと決めて積極的に質問をしてほしい。それが学生でしょう。やりたいことや夢があるから大学に行くわけですから」。

多文化社会学部オランダ特別コース

ウィレム・ヤン・ボート

客員教授

【講義】オランダ現代社会論(多文化2年)

BOOT WILLEM JAN
1976年ライデン大学卒業。1983年同大学院修了。博士(文学)。1985年より同大学文学部本学教授兼任。京都大学文学部、上智大学文学部の客員教授を経て2015年現職。

この先生に教わりたい!

水

産学部は二隻の練習船を有しており、その乗船を取り仕切るのが山脇信博准教授です。

「実習や調査の学生、他大学の研究者など年間七〇〇名が乗船しています。実習では一年次の三泊四日計器類の使用目的・使用方法を学び、三年次は二週間乗船して船の交通ルール、漁業や海洋観測方法を学習します。航海士を目指す学生は四年次で海外の航海も体験します」。

「まずは挨拶。単独行動は厳しく諫めます。例えば非常事態で退船命令が出たとき、命令が聞こえていない人は死んでしまいます。命令を聞いた他のメンバーが声を掛けることでその人は助かります。声を掛け合い、お互い確認し合う集団行動は命を守る基本なのです」。

また、初めて会う学生の場合、性格を知ることができているとか。「酔いなど体調が悪い学生には無理させず個人のペースで慣らしていきます。女子学生は最初は着飾って顔面工事(笑)をしても、一週間でスッピンに。船を下りるころはみんな顔つきが締まって大人になりますよ」。ところで山脇先生は東日本大震災直後に最初に救援物資を運んだ長崎

船の上ではみんなが家族



編集部推薦コメント

全国に大学は数多くあれど、大型の練習船を持つのは長大を含め、わずか6校のみ。貴重な体験である船上実習を仕切って約20年という山脇先生は、水産学部OBみんなの思い出に残る先生です。



ドックで塗装され、ピカピカの長崎丸(824総トン)と山脇先生。



水産学部附属練習船長崎丸

山脇信博

准教授

【講義】船舶工学(水産3年)ほか

丸にも乗船していたそうです。「あのとき、当時の船長から『お前行けるか』と聞かれました。私は以前、水産庁で調査船に乗っていたので、東北沿岸の地理はよくわかっていました。『港内の状況はわかりませんがアプローチはできます』と答え、前職の同僚からは現地の情報を教えてもらいました。結果的には小名浜港と宮古港に着岸できました」。

海の仲間の結びつきは強いんですね。「いわゆるシーマンシップです。周りに何もない海上での仕事ですからお互い助け合うという精神が自然と身につきます。いずれにせよ海の上で想定外があつてはいけません。刻一刻と状況が変わるなかで得られた多くの情報を冷静に判断できるようになってほしいですね」。

山脇先生が必ず学生に語る言葉です。「船上では乗船者は家族。船長が父親、機関長が母親、乗船者は兄弟」。

やまわきのぶひろ
長崎大学水産学部特設専攻科その他。水産庁を経て1997年長崎大学へ赴任。2009年より現職。一級海技士。

この先生に教わりたい!

長 崎大学には教科書を執筆した先生もいます。「はじめて学ぶ生命科学の基礎」(化学同人)は六名の研究者が執筆しており、その中心となったのが畠山智充教授です。「生命科学の基礎教育で一年生に教えるのにちょうどいい教科書を探していました。難しく専門的だったり取扱い範囲が広すぎたり、一年前期から分厚くて価格の高い本も厳しい。どうしたものかと思っていたところ、出版社から声をかけられました。」

タンパク質科学を専門とする先生のシラバスが編集者の目に留まったことがきっかけでした。「皆さんと一年がかりで取り組んだのですが、意識したのはタンパク質や糖質などの分子の構造や機能などの基本に始まり、細胞の増殖や進化の話まで、分子レベルから細胞・個体レベルにスケールアップする一貫した流れです。この本は長崎大学はもちろん、他大学でも使われているそうです。」

近年、生物だけではなく化学や物理を十分に理解していない新入生も多いといえます。「だいじょうぶ、原子や分子の基本的な概念さえつかめれば、代謝や遺伝など体のなかで起きているさまざまな現象を理解することができます。化学物質工学コースは、材料工学科と応用化学科が一緒になった珍しいコース

わかりやすい教科書を自作

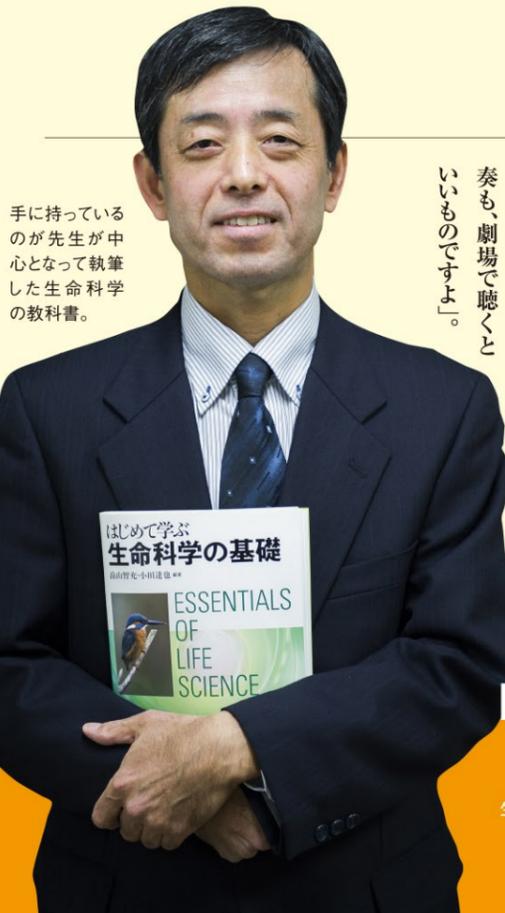
編集部推薦コメント

生命科学の教科書を自ら執筆・編集。初めて生物を学ぶ初年次生にも基礎から学問の壮大さまで教授することで定評。オーケストラのバイオリニストという意外な一面も。



愛用のバイオリンとともに。現在、長崎大学管弦楽団や県内の市民オーケストラに参加しています。

PROFESSORS OF NAGASAKI UNIVERSITY



手に持っているのが先生が中心となって執筆した生命科学の教科書。

手で持っているのが先生が中心となって執筆した生命科学の教科書。

「子どもは、金属やセラミックスなどの材料学から有機化学や生化学などの幅広い分野をカバーしています。就職した際には医薬や食品関係の企業はもちろん、機械や材料系の企業においても、医療機器の開発など生物学の基礎知識が役に立つことも多いんです。」

ところで畠山先生にはオーケストラのバイオリニストというもう一つの顔があります。「子どものころからバイオリンを習っていましたが本格的にやり始めたのは九大フィルハーモニー・オーケストラに入ってから。何十人もの演奏者が集まって一つの曲を表現していくのは素晴らしい経験ですが、出だし一つ間違えればとんでもないことにもなります。緊張感のなかで表現力も鍛えられます。」

好きな作曲家はバッハとモーツァルト。「『スター・ウォーズ』のオーケストラ演奏も、劇場で聴くといいですよ。」

大学院工学研究科物質科学部門
畠山智充
教授
【講義】
生命科学(工学1年) / 生化学(工学2,3年) / 有機生命実験(工学3年)ほか

はたけやまともみつ
九州大学農学部農芸化学卒業。同大学院農学研究科農芸化学博士課程単位取得退学。博士(農学)。九州大学助手を経て、1996年長崎大学に赴任。2005年より現職。

この先生に教わりたい!

コ で問題です。外国人男性と日本人女性の国際結婚と、外国人女性と日本人男性の国際結婚、日本ではどちらが多いでしょう? 「学生たちはほぼ全員が前者と答えます。メディアの影響でしょうか。でも実は外国人女性と日本人男性の国際結婚が全体の七割強で、さらにそのうちの八割強が中国やフィリピンなどアジア出身の女性との結婚です。」

そう語る賽漢卓娜教授の専門は家族社会学。なかでも国際結婚している女性の移動のプロセスや子どもの教育について研究しています。東アジアの女性が日本社会でどう暮らしていくのか、対象者の生活に寄り添う参与観察を続けてきました。

「国際結婚で妻がアジアの女性というケースはとて多いのに、それが顕在化されていないのはなぜでしょう。外見が似ているから? はい、それもあります。色々な意味で見えなくしているところもあります。受け入れ社会の側の都合を重視し女性に同化を強いたり、国際結婚を家族が地域に隠すケースもあります。これでは女性が孤立したまま子育てをすることになってしまいます。」

国際結婚を見つめることで日本社会の問題が見えてくることも。「農家に嫁が来ないという農村地域の機能不全や、歴史問題を日本人が見

国際結婚から日本社会をみる

編集部推薦コメント

国際結婚家庭の女性の生き方や子どもの教育というグローバルな研究テーマを持ち、独自の視点で日本社会を見つめています。ちなみに、先生のお名前は「賽漢卓娜」のワンネームだそうです。



2年生のゼミの様子。外国人労働者受け入れ問題や外国人の子どもの就学など、テーマは学生自らが設定します。「学生には多文化共生や家族の多様性についてグローバルな視点を養ってほしいですね。」

PROFESSORS OF NAGASAKI UNIVERSITY



ないふり」をしてきたということ。個人を尊重せず受け入れ社会の都合だけを優先していれば、うまくいかなかったりします。自分のホームグラウンドを離れて海外に移住してくる人たちは精神的に強い面も持っていますが、自分を抑えたままではいつか破綻してしまいます。生活様式や文化だけでなく、その人の考え方や価値観に寄り添うことで、相手の立場に立って物事を理解する力と想像力が広がります。」

来日して二十年。先生は北京に生まれ育ったモンゴル人です。「得したと思いますよ。漢民族の文化も理解でき、故郷のモンゴルもある。父は十代まで遊牧民だったので馬に乗ると人馬一体ですごくかっこいい! 私も乗れるのですが、うまくはないので馬に『馬鹿』にされちゃいます(笑)。」

漢民族とモンゴル民族の文化を継承しつつ日本で活躍する。まさにグローバル時代のロールモデル的存在です。

多文化社会学部
サイハンジュナ
賽漢卓娜
准教授

【講義】アジアにおける人の移動と日本(教養教育) / ジェンダーと人権(多文化2年) / 異文化と家族(多文化3年)ほか

SAIHANJUNA
名古屋大学教育発達科学研究科博士課程修了。博士(教育学)。2014年より現職。著書に「国際移動時代の国際結婚」(勁草書房)

この先生に教わりたい!

「矢」 倉健は大きいため息をついた。自分は圧倒的な負け組だ、完敗。

健はパイプイスに座り、通りすぎるリクルートスーツの群れを見つめている。机の上には白紙のエンターシートと病院パンフレットが山積みされていた。(地方病院研修医獲得物語「フルマッチ」より)。

日経メディカルで連載され、電子書籍化されたこの小説。著者の崎長ライト氏、実は長崎大学病院の濱田久之教授です。

「高校のころから医者になって小説を書くのが夢でした。医者と小説家って似ているんです。どちらか人間を観察することから始まります」。

小説は、日本の西の果ての「西果市」の病院が舞台。個性的な医療人とともに困難を乗り越えていく。ガッツでヘタレな主人公矢倉の成長も見どころです。

医者、ときどき小説家

編集部推薦コメント

ウェブ上で医療小説を発表し、電子書籍にもなりました。昨年は長崎新聞社にも短編小説が掲載されており、今後も「地方の再生」をテーマに執筆活動を続けるとか。大病院の研修医獲得でも活躍し、目が離せません。

連載小説「フルマッチ」

地方病院研修医獲得物語

フルマッチ

第1章 負け組病院の逆襲が始まる...のか? -2012年3月(博多国際会議場)-

2015/5/25 崎長ライト

こちらが「日経メディカル Online」にて無料で読むことができる、濱田先生の連載小説「フルマッチ」。本連載の電子書籍版「地方病院研修医獲得物語 フルマッチ」はKindle版で価格540円(税抜)(電子書籍の売上の印税はすべて研修医獲得基金に寄付されます)。

<http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/cadetto/novel/fullmatch/201505/541801.html>

苦労しています。しかし長崎大学病院は二〇一四年、六十五名を獲得して全国二〇一五病院中六位に躍り出ました。地方の大学では異例のこと。

「どの業界も人材不足は悩みの種ですが、若い人は面白くて楽しい所に集まる。そこで面白い場にする仕掛けを考えました。医者は過酷な仕事だから、働きやすく教えやすい環境を病院全体で整備できたことも結果につながりました」。

長崎大学では講義も受け持っています。「教養教育の講義でタバコの害やうつ病などの医療知識についてもお話ししますし、医学生には在宅医療の実習も。二十代で予備校講師もしていたので人に教えるのは得意です」。

迷いと挫折の連続で自らの不甲斐なさと同じくあいながら三十代で医者になったという濱田先生。いつかその半生を小説で読んでみたいものです。



医療教育開発センター長
濱田久之
教授

【講義】安全で安心できる社会I(教養教育)/
医と社会 医師のキャリアパスとプロフェッショナリズム(医学1年)ほか

はまだひさゆき
大分医科大学医学科卒業。
長崎大学社会人大学院卒業。
トロント大学で2年間医学教育とプライマリーケアを学ぶ。博士(医学)。長崎医療センターを経て2008年長崎大学病院へ赴任。2011年より現職。

この先生に教わりたい!

「例えばAR(拡張現実)の一例でいえば、タブレットをテキストにかざすと画面上に立体的な太陽が映って動き出します。またVR(仮想現実)はここ数年話題になっていますが、私は二〇〇六年から大スクリーンを用いた授業実験をしていました。現在はTUI(関連して早稲田大学と共同研究を行っています。これらを用いることで、例えば月の満ち欠けなど子どもたちが苦手とする空間認識の理解を助けます」。

「私の役割は、教育学部の学生全員がICTを扱う技術や知識を身につけ、現場で活かせるようになること。もちろん、指導の基礎があったうえで道具ですが、トレーニングしておけば先輩の教員にも教えることができますように、自分の強みにもなります」。

受験生のころは「暗記なんて何になる?」と異を唱えていた先生。バ

最先端ICTで教育を変える

編集部推薦コメント

デジタルのコミュニケーションテクノロジーを教育に活かす開発を手掛けるスペシャリスト。本学の教育学部出身で工学博士という経歴の持ち主です。



TUIとはTangible User Interfaceの略。タンジブル=手で触れることを用いたインターフェースの一種。その一例がこれ。手前のスペースシャトルや地球などの模型を手で動かすと、モニターのなかの地球からの視点も動いて視点移動による空間の関係性がわかる機材です。模型の台の裏側に位置情報を読みとるしくみがあります。



教育学部 初等教育
瀬戸崎典夫
准教授

【講義】
ICT教育法(教育2年)ほか

せとざきのりお
長崎大学教育学部卒業。同大学教育学研究科教育専攻修士課程修了。九州大学芸術工学部芸術工学専攻博士課程単位取得退学。博士(工学)。早稲田大学助手。首都大学東京助教を経て、2014年より現職。

ソコンも苦手でした。

「勉強嫌いのこの私が探究すること目覚めて変わりました。人間、面白いと思ったら興味を持てるし、わかる喜びを知ります。ゲームだって今は勉強に役立つ楽しいアプリが出ているからどんどん利用していいのでは」。

高校への出前講座ほか、オープンキャンパスでも高校生が最新のICT技術にふれる機会を提供しています。「こんなことができたらいいな!」という発想は基礎知識がないと生まれません。開発者がドラえもんなら、現場の先生はのび太くんです」。

テクノロジー有りきではなく、現場のニーズから発想して最新技術を活用していく方がうまくいくのではないかと。新しい視点からの教育改革に、瀬戸崎先生の活躍が期待されます。

※1/ICT...Information and Communication Technology
※2/AR...Augmented Reality
※3/VR...Virtual Reality
※4/TUI...Tangible User Interface